

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 多摩市立東愛宕中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒206-0041
東京都多摩市愛宕1-52

E-mail : daihyou-higasiatago-chu@city.tama.ed.jp

Website : <http://www.tama.ed.jp/atagochu/>

児童生徒数：男子 90 名 女子 76 名 合計 166 名
児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマを「2050年の大人づくり」と定め、人と人、人と社会、人と自然の三つの観点から、①社会貢献活動(ソーシャルアクション) ②キャリア教育 ③環境教育 ④防災教育 ⑤国際理解教育 ⑥ユネスコスクール・地域住民との交流 を行ってきている。

今年度は、学校地域支援本部を設置し、ESDの推進に地域人材の参画を受けて進めている。特に学んだことを実際の行動や実践で表現すること(アウトプット)を重視し、そのことで地域を変えていく(インパクト)を重視したESDの取り組みとして、クリティカルシンキングと実践を重視した学習を行っている。

- ・地域の担い手として中学生が伝統的な行事に参加し地域と協働することにより、始まり、環境問題や防災活動や認知症予防など多岐にわたるよう拡大している。
- ・多摩ニュータウンの少子高齢化という地域社会の中にある中学校が、国内外ユネスコスクールとの交流・Web会議、環境教育・防災教育・キャリア教育・起業活動・アートマイルなどをおして絡み合った社会の課題の具体的な解決への実践と行動を起こしている。特に企業のCSR活動などの支援を受けて、経済的な視点を取り入れた格差解消の視点や経済活動にシフトしている。
- ・なぜ、地域の学校で学ぶのか?という問いに対してESDとして学校教育で可能な最大限の配慮を行い、地域社会の課題に対して主体的・共働的に解決を図ろうとする中学生の育成を行っている。
- ・次年度に向けて、地域住民とともに生物多様性等に取り組むために養蜂に取り組んだり、子ども食堂の試行を行ったりしている。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()



スタンドアップサミット 2015



気仙沼大谷中交流



養蜂